

トークで女の子の心を掴め！
【出会い系ライターの『LINE術』】



著:江川 岳光

著作権について

【出会い系ライターの『LINE 術』】PDF 版(以下、「本レポート」と表記)は、著作権法で保護されている著作物です。

本レポートの使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

- 本レポートの著作権は「江川 岳光」にあります。
- 「江川 岳光」の書面による事前許可無く、本レポートの一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイルなど)により、複製、流用および転売(オークション含む)することを禁じます。

本レポートを利用する際は、必ず下記の『使用許諾書』をご一読頂くようお願い申し上げます。

使用許諾契約書

本契約は、本レポートを購入した個人・法人(以下、甲と称す)とお名前(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。

本レポートを甲が受け取り、パッケージを開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的

乙が著作権を有する本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項

本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。

甲は本レポートから得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。

甲は、自らの事業、所属する会社および 関連組織においてのみ本レポートに含まれる情報を
使用できるものとします。

第3条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができ
るものとします。

第4条 損害賠償

甲が本契約の第2条に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、その違約金
として、違約件数と販売価格を乗じたものの 20 倍の金額を支払うものとします。

第5条 責任の範囲

本レポートの情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じた としても一
切の責任を負いません。

はじめに

まず最初に、質問したいことがある。

あなたは現在、メールを使っているだろうか？

「ソーシャルメディアユーザー調査 2012」では、やり取りを行うチャットツールとして、『LINE』が多くの人々に利用されているという実態が明らかになった。

【参照：[FacebookとLINEが躍進、ソーシャルメディアは一般層に広く普及しコミュニケーションツールへ](#)】

実際に俺の周囲の人たちを見てみると、スマホユーザーはLINEを利用していることが圧倒的に多い。

それを裏付けるかのように、LINEのユーザー数も急激に増加しつつある。

従来 of 主要コミュニケーション手段であったメールは、ほとんど使われなくなってきているのだ。

LINEは「チャットのようなメール」という独自の性質を持っている。

それによってスムーズなやり取りを可能にし、多くの人々を繋げる橋渡しの役目を果たしている。

だからこそ、これからのネットコミュニケーションは、LINEが中心となっていくことは間違いない。

つまり、あなたが好きな女の子(特に10代~20代)と仲良くなりたいのなら、LINEを使うことは避けては通れない道。

ネットサービスの進化が著しい現代では、「会話力」ならぬ「トーク力」が求められているのだ。

目次

◆第1章◆ LINE とは？

- 1.1 『メルチャ』という特性
- 1.2 文字に感情を添える『スタンプ』
- 1.3 魔の「既読」機能
- 1.4 本当は怖い「ブロック」機能

◆第2章◆ LINEトークの4大鉄則

- 2.1 女の子のトーク意欲を増せ
- 2.2 トークの間を空けない
- 2.3 トークネタを用意する
- 2.4 押してダメなら押してみる

◆第3章◆ 出会い系ライターの本ネタ張

- 3.1 天気・食べ物
- 3.2 スマートフォン
- 3.3 10代の女の子用トークネタ
- 3.4 恋愛

◆第4章◆ 『初日』のデッドラインを超えろ

- 4.1 LINEでの初トークの重要性
- 4.2 「話す」のではなく「話させる」

- 4.3 『相槌+質問』の合わせ技で攻めろ
- 4.4 『YES・NO メール』は避ける
- 4.5 トークスパイラルに突入しろ
- 4.6 明日に繋げる確実な方法

◆第5章◆ 初日以降のトーク

- 5.1 情報の優先順位を知れ
- 5.2 「会話のスイッチ」を切り替えろ
- 5.3 彼氏のウマイ聞きだし方
- 5.4 情報ランクでわかる女の子の好感度
- 5.5 やり取りを「当たり前」に

◆第6章◆ 女の子の心を掴むトーク術

- 6.1 褒める技術を身に付けろ
- 6.2 効果的な女の子の励まし方
- 6.3 メッセージを返すベストタイミング
- 6.4 「LINE 記念日」を覚えろ
- 6.5 トーク履歴の分析

◆第7章◆ 世代別トークテクニック

- 7.1 10代の女の子
- 7.2 20代前半の女の子
- 7.3 20代後半～30代以上の女性

◆第8章◆ LINEトークで注意すべき5つのこと

- 8.1 メッセージの送信確認

- 8.2 長すぎる自己紹介
- 8.3 加工されすぎた写真を使う
- 8.4 絵文字や顔文字の乱用
- 8.5 同じことを何度も聞く

◆第1章◆ LINEとは？

こちらでは、会話ツール『LINE』について、簡潔かつ具体的に解説していく。

同アプリのダウンロードは以下から行える。

【参照：[LINE](#)】

取り扱い説明は以下を参照してほしい。

【参照：[LINE\(ライン\)の使い方ガイド](#)】

LINEはスマホとPCの双方で利用することができる。

1. 『メルチャ』という特性

メルチャとは俺の造語で、メールとチャットを組み合わせた機能を指す。

実際にLINEを使ってみると、このような複合した特徴を持っていることがわかる。

従来の『eメール』では、「相手の返信を待つ」という一事が、醍醐味でもありデメリットでもあった。

また、『チャット』はリアルタイムな会話を可能にし、相手とのスムーズなやり取りを行うことができる。

その反面、「リアルタイムだからこそチャット力が求められる」というデメリットもあった。

『LINE』はメールのように返信内容を考えることができ、チャットのようにリアルタイムでのやり取りもできる。

同サービスはネットコミュニケーションのレスポンスを速め、スムーズな会話を実現する素晴らしいサービスなのだ。

高機能な会話ツールを使いこなすためには、必然的にユーザーの技術も求められてくる。

「LINEを制する者はネットでの出会いを制す」

LINEが急速に普及しつつある現代では、こう言っても過言ではない。

2. 文字に感情を添える『スタンプ』

ネット上のコミュニケーションで、相手に意思を伝えるのは「文字」である。

しかし、その裏側に潜む「感情」までは、文字だけで伝えきれるものではない。

そのような表現不足を改善するために、絵文字や顔文字といった技術が開発されてきた。

これらは、今や会話ツールに欠かせない要素となっている。

LINE はそれらに加えて、『スタンプ』という独自の機能が付いている。

これは、「絵文字や顔文字の進化系」と考えてくれれば良い。

また、スタンプには有料と無料のものが存在する。

前者はよほどのコアなユーザーでない限り、利用する機会はほとんどないだろう。

強いて言うのなら、「もっとスタンプのバリエーションを増やしたい！」というときに購入すべきだ。

そのため、基本的には後者の無料スタンプで十分である。

LINE をインストールした時点で、「喜怒哀楽」といった感情はもちろん、細かいシチュエーションごとのスタンプも備わっているからだ。

これらのスタンプを上手く活用していき、メッセージに視覚的な感情を添えていこう。

3. 魔の「既読」機能

LINE は通常の手順でメッセージを読むと、相手に「既読」と表示される。

これは送り手からすれば、「トークを見たかどうかがわかる」というメリットになる。

だが受け手からすれば、デメリットになることが多いのだ。

(見てるのにどうして返してくれないのかな…)

たとえば、「既読」状態にしてメッセージを送らなければ、女の子にこう思われてしまいがち。

それに加えて、メッセージを見たのであれば、返信をしない言い訳も考えなければならない。

そのため、メッセージを確認したいのにも関わらず、「返しづらい」「返信に時間がかかる」などの内容だった場合は、気軽に見ることができないというジレンマに陥る。

以上の理由から、ネット上では「LINE の既読機能はいらない」と批判されることも多い。

受け手からすれば、「返信しなきゃ…」というプレッシャーでしかないからだ。

とは言え、「既読にしないでトークを見たい！」という男性もいるだろう。

実際にその方法は存在しているため、安心してほしい。

LINEでメッセージが送られた際に、スマホのトップ画面に「ポップアップウィンドウ」が表示される。

その画面のみでトークを見るのであれば、相手に「既読」マークは表示されないのだ。

ただし、右下の「表示」をタップすると、「既読」になってしまうため注意が必要である。

【参照：[『LINE』で「既読」にせずにトークを読む方法\(Android&iPhone\)】](#)

「既読」機能の不完全さをこの裏技で補いながら、女の子にメッセージを送っていかう。

4. 本当は怖い「ブロック」機能

LINEには「ブロック」という機能がある。

これは迷惑なユーザーを遮断し、メッセージを届けさせないというものだ。

女の子の場合は、主に「出会い厨」や「エロ目的の男性」をブロックすることが多い。

ブロックのやり方は、『LINEを開く ⇒ 右上の「編集」をタップ ⇒ ブロックしたいユーザーを選択 ⇒ 左下の「ブロック」をタップ』が一般的。

もしくは、『ブロックしたいユーザーを長押し ⇒ 「ブロック」をタップ』でも行うことができる。

この機能が恐ろしい点は、基本的にブロックした側は快適だが、ブロックされた側には通知されないということ。

以下では、ブロック側とブロックされた側に分けて解説していく。

《ブロックした側》

ブロックユーザーは「友達リスト」に表示されず、「ブロックリスト」に追加される。
対象ユーザーのトークルームを開くと、メッセージ入力欄に「ブロック中」と表示される。
ブロックユーザーのメッセージは表示されず、通話の呼び出し音も着信の表示もされない。

《ブロックされた側》

相手にメッセージを送っても、一切「既読」状態にならない。
ブロック中に送ったメッセージは、解除後も相手に表示されることはない。
通話をかけると「呼び出しています…」という画面が表示され、通常どおり呼び出し音も鳴る。

つまり、ブロックユーザーはブロックされたことがわからず、何度メッセージを送っても「既読」にならない生殺し状態となるワケだ。

いくら待っても「既読」と表示されない場合は、まずブロックされた可能性を疑うべきだろう。

女の子にブロックされないためにも、迷惑行為や嫌がらせ行為は絶対に避けよう。

◆第2章◆ LINEトークの4大鉄則

こちらでは、『LINE』での会話で心がけるべき4つの鉄則を解説していく。

1. 女の子のトーク意欲を増せ

『LINE』で女の子と会話するきっかけは、LINE 掲示板やLINE 掲示板アプリがほとんどだろう。

それを前提とするのなら、基本的に女の子は「暇つぶし相手を探している」ということを理解しておこう。

そのため、ありきたりなトークにはそれほど興味を示さないのだ。

最初の自己紹介は仕方ないとしても、その後のトークでの掴みが重要になってくる。

それ次第では、女の子の“トーク意欲”が大きく上下するからだ。

俺の場合は、「ライター」という職業が格好のネタになっている。

ほとんどの女の子(特に10代)は「ライターって何ですか?」と聞いてくるため、その後の会話が続きやすくなるのだ。

具体的には、あなた独自のネタ(職業・趣味・特技など)からトークを展開していこう。

そのネタはコアな内容であればあるほど、知られていなければいけないほど良い。

女の子の好奇心を刺激するため、それに対する質問を引き出し、興味を持たせつつトークすることができるからだ。

最初の段階で女の子のトーク意欲を増すことができれば、仲良くなる基盤はできたも同然である。

2. トークの間を空けない

女の子はメッセージを送ってくれた相手に対して、「それほど興味を示さない」ということは先ほども述べたとおりだ。

『LINE』でやり取りするきっかけが、掲示板や掲示板アプリなどの不特定多数が利用するサービスであればなおさらそう。

LINEに限った話ではないが、会話ツールにおける双方の位置付けは「知らない人」からスタートする。

では、「知らない人」とのトークを続けさせるためにはどうすれば良いか?

女の子に、「話が面白くて会話のリズムが良い」と感じさせることである。

具体的には、LINE メッセージの返信は 10 分以内にするようにしよう。

それ以上の間を空けてしまうと、せっかく女の子が乗り気になっても、返信する意欲が無くなってしまう。

基本的に女の子は多くのメッセージを貰うのだから、1人1人の男性を軽視しがちなのだ。

だからこそ、最初の段階では「とにかく印象付ける」ということを心がけよう。

レスポンスを早めて良いトークリズムを生むようにし、「返信が早い」という印象を与えていく。

「返信が早い人」は、多くの男性の中でもトークの優先順位は上がりやすい。

3. トークネタを用意する

最初の段階でのトークは、必然的に話題が不足しがちになる。

それもそのはず、初期状態での女の子の情報は無いに等しいからだ。

そのため、会話のネタを多く持っていなければ、トークはすぐに途切れてしまう。

だからこそ、会話を弾ませるため、トークを継続するためにも、ネタのストック量が物を言うのだ。

以下では、序盤のトークで使えるネタを解説している。

【序盤のトークネタ】

①メディア

書籍やテレビ、ネットなどのメディアから、トークネタを仕入れておく。

大々的に報道されているニュース、話題になっているネタなどは、多くの人知っているため共通した話題になりやすい。

女の子の情報が不足している状態では、共通する話題はかなり少ないため、とても重宝するネタとなる。

②面白い話

あなたの持っている面白い話を、わかりやすい流れで話せるようにしておく。

オリジナルの話でなくとも、ネットで見つけたネタでもかまわない。

面白い話は、女の子に「もっと話したい」と感じさせることができるため、大量にストックしておきたい。

③ビックリする話

あなたの持っている驚くような話を、わかりやすい流れで話せるようにしておく。

ビックリする話は、あなたに対して興味を持たせ、質問を引き出すことができる。

女の子の反応が薄くなってきた際に、トーク意欲を増加させる切り札としても効果的。

日常的に、トークネタのストックを増やしておくようにしたい。

それぞれの話題の特性を見極め、効果的に使っていくことを心がけよう。

そうすることによって、最初のトークでつまづく可能性は低くなる。

4. 押してダメなら押してみる

『LINE』のトークに限っては、これが一番重要だ。

実際に会話してみるとわかるが、あなたからメッセージを送ったのなら、一行や一言での返信は日常茶飯事。

いい感じでトークできていたとしても、メッセージが返ってこなくなることもしばしばある。

プロフィール画像がイケメンだったり、お笑い芸人並みのトークスキルを持っていれば有利なこととは間違いない。

だが基本的にはどんな男性に対しても、最初の段階での女の子のトーク意欲は低い。

そのため、質問したり話題を振るなど、とにかくガンガン押していこう。

「『剛力 彩芽』並みにゴリ押し」と言えばわかりやすいかもしれない。笑

一行メッセージばかりが返って来るようであれば、二行以上のメッセージを貰えるようになるまで。

そっけない返事が来るようであれば、興味を持った返事を貰えるようになるまで。

ゴリ押しし過ぎた結果、ブロックされたとしても落ち込む必要はない。

そのくらいの根性が無ければ、LINEトークで女の子と仲良くなることはできないからだ。

とは言え、最初からエロトークをしたり、自分のことばかりを話すなど、自分勝手なトークはしないようにしよう。

「マナーを守りながら押す」

これが、LINEトークにおける最大の鉄則だ。

◆第3章◆ 出会い系ライターのネタ張

こちらでは、女の子に対して有効なトークネタを解説していく。

1つの話題についてある程度トークできたら、次の話題に移っていくというイメージが望ましい。

あくまでも最初の段階では、質問で会話にリズムを作り、トークしやすい雰囲気を作り出すことが目的である。

『質問 ⇒ 回答 ⇒ 質問』という質問攻めではなく、回答に対するあなたの意見や感想を添えてから質問するようにしよう。

1. 天気・食べ物

最初の段階では女の子の情報が少ないため、トークがギクシャクしてしまいがちだ。

その雰囲気を払拭するために、まずは『天気・食べ物』という万能ネタを話すのが良い。

【天気】

「こっち超××(天気)なんだけど！そっちはどう？」

「俺晴れ男なんだけど、〇〇ちゃんは何女？」

「曇りの日って、傘持ってくるか凄い迷わない？」

「小雨で傘差す人？差さない人？」

「晴れと雨だったらどっちがいい？」

「××(場所)行くんだけど、明日の天気わかる？」

《暑い》

「好きな飲み物ベスト3教えてよ」

「めっちゃアイス食べたい！アイス何好き？」

「海とかプールは行く？ってか泳げる？」

「こういう日の××(施設)って、天国じゃない？」

「焼かれるのと凍るのだったらどっちがいい？」

《寒い》

「寒いと布団から出たくなくなるよね！すぐ出れる人？」

「お風呂入った後の脱衣所って、超寒くない？」

「コタツに入ったまま寝て、風邪引いたことある？」

「ホッカイロ貼る？それとも自分の体温で凌ぐ？」

「寒いときにおススメの食べ物ってある？」

【食べ物】

「朝ごはん食べる人？食べない人？」

「ラーメンって食べる？麺の硬さは？」

「マヨネーズよく使う？ってかマヨラー？」

「辛いのが食べれる？辛すぎると味しくない？」

「料理作れる？カップラーメンって料理に入る？」

「料理って一品ずつ食べる？それとも全体的に食べる？」

「これだけは無理って食べ物ある？」

「歯磨きした後にお腹空いたらどうする？」

基本的に天気や食べ物の話は、どの女の子にも通じるために万能ネタと言える。

しかし、そこまで面白みのある話ではないので、あくまでもトークしやすい雰囲気を作るために使う。

女の子の好きなモノを聞き出せたら、その話を深く掘り下げていこう。

2. スマートフォン

LINE でトークしている時点で、女の子のメルアドや電話番号はゲットしてるも同然だ。

だからこそ、特にそのような個人情報を聞く必要はない。

スマホの話題も、LINE を使っている女の子にとっては万能なネタとなる。

【スマートフォン】

「LINE の既読って気にする人？」

「LINE 以外によく使ってるアプリある？」

「パズドラやってる？あれって面白いの？」

「メール派？それとも電話派？」

「キャリアは何？そのキャリアの良い所は？」

「スマホにカバー付けてる？どんなカバー？」

「俺のスマホ糞重いんだけど、〇〇ちゃんのはどう？」

「ガラケーからスマホに変えると、文字打つの大変じゃない？」

若干の個人情報が含まれるため、少し仲良くなってから話すのがベスト。

スマホの話題は、より突っ込んだ個人情報を聞くための布石として使う。

女の子の LINE の使い方を知ることができれば、今後のトーク戦略を練るためにも有効だ。

3. 10代の女の子用トークネタ

『JC・JK・JD』といった学生の女の子に対しては、効果的なトークは変化する。

彼女たちは社会人とは違い、“学校”という特有のコミュニティで生活しているからだ。

そのため、学校関連の話題に絞ったほうが、距離は近づきやすくなる。

【JC・JK】

「教科ごとの先生のあだ名教えてよ」

「ウザイ先生とか面白い先生はいる？」

「俺は××部だった(なんだ)けど、〇〇ちゃんは何部？」

「何の授業が好き？俺は保健体育(だった)！笑」

「バレないように寝るテクニック何かある？」

「真面目に授業聞いている？それとも内職してる？」

「昼飯って弁当？それとも購買部？」

「カッコ悪い先輩とかカッコ良い先輩はいる？」

「『ちょっと男子！ちゃんと歌ってよ！』って感じの子いる？笑」

【JD】

「俺××学部だったんだ(なんだ)けど、〇〇ちゃんの学部は何？」

「講義の席にたまに教授座ってない？笑」

「講義中にやたら足音立てて入って来る奴いない？笑」

「講義は前の席で聞く人？それとも後ろの席で聞く人？」

「サークル内で恋愛すると、面倒くさくならない？」

「留学とか考えてるの？」

あなたが学生であれば、これ以外にもネタは多く浮かぶはずだ。

あなたが社会人であれば、学生時代を思い出しながらネタを探し出していこう。

引きこもりの女の子に対してのトークは、第6章の1を参考にしてほしい。

4. 恋愛

最終的には、女の子なら誰でも好きな恋バナへ持ち込んでいく。

ここまでにある程度仲良くなっていれば、すんなりと話してくれるだろう。

また、あくまでも彼氏がない女の子を対象としている。

「彼氏のウマイ聞きだし方」については、第5章の3を参考にしてほしい。

【恋愛】

「初恋はいつだった？」

「いつから彼氏いないの？」

「浮気された(した)ことある？」

「男のキュンとする仕草ってある？」

「好きなタイプは芸能人と言えば誰？」

「告白したいタイプ？されたいタイプ？」

「好きじゃない人に告白されたらどうする？」

「記念日は気にする人？」

恋バナは、女の子を恋愛モードにするために効果的なネタだ。

恋愛トークを頻繁にする仲になれば、『友達以上・恋人以上』も十分に狙うことができる。

あなたの目的にもよるが、これがLINEトークの最終目的と考えていい。

◆第4章◆『初日』のデッドラインを超えろ

こちらでは、初対面の女の子に好印象を与え、継続した関係を築くノウハウを解説していく。

「今日」と「明日」には、絶対的なボーダーラインが存在する。

第4章では、「初日乗り越え、それ以降もトークを続ける」ことを目標とする。

1. LINE での初トークの重要性

LINE のような会話ツールに限らず、女の子と親密になるためには第一印象が大切だ。

とは言え、「リアル」と「ネット」では受ける印象の性質が少し異なる。

前者は主に『見た目・会話・雰囲気・立ち振る舞い』が強く印象に残る。

その一方で、後者は主に『写真・メッセージ』が第一印象となる。

このように、ネットはリアルに比べて、女の子に与えられる情報が圧倒的に少ないのだ。

だからこそ、LINE でのメッセージのやり取りは、あなたの印象の7割を握る。

ルックスの良し悪しは、女の子との会話のハードルを下げやすいことは事実。

しかし、たとえイケメンでも会話が弾まなければ、その後の関係は望めないことも揺るがない。

つまり、ネットコミュニケーションにおいては、メッセージが最重要ポイントなのだ。

その内容次第では、女の子との発展はもちろんのこと、初日乗り越えられるかどうかを大きく左右する。

とくにLINE では、知人や友人の女の子ならともかく、掲示板やアプリなどで男性がメッセージを送るケースが圧倒的に多い。

後者の場合は、基本的に女の子はトークに乗り気ではない。

なぜなら、ネットやリアルに関わらず、女の子に対してのアプローチは非常に多いからだ。

だからこそ、悪印象を与えようものなら、すぐに切られてしまうというワケである。

LINE のトークにおいては、他の男性との差別化を図ると同時に、「楽しい」「もっと話したい」と思わせる必要がある。

「リアルの出会い」と「ネットの出会い」では、与えられる情報が少ない分、第一印象の重みが違うということ覚えておこう。

2. 「話す」のではなく「話させる」

先ほども述べたように、LINE での第一印象は「初日のトーク内容」である。

だからこそ、自分をアピールしたいばかりに「話しまくるぞー！」と意気込む男性が多い。

だが初日に限っては、それが逆効果になってしまう。

なぜなら、「自分のことしか考えていない」という悪印象を与えてしまうからだ。

女の子の立場から考えてみてほしい。

話してから間もないのに、「相手のことや自慢話を聞きたい！」と思う娘がどこにいるだろうか？

基本的に女の子は「話したい」という生き物でもある。

そのため、初日は質問を交えて聞き手に回り、話のタネを集めることに徹しよう。

とはいえ、最初のトークでは女の子の情報が圧倒的に少ない。

相手が知人や友人ならまだしも、初対面の娘であればなおさらそうだろう。

そう思ってプロフィールを見てみても、得られる情報が『画像・アカウント名・ひとこと』の3つしかない。

これでは、RPG において初期装備でラスボスに挑むようなものだ。笑

まずは、女の子の情報をできる限り収集しなければならない。

聞いておくべき具体的な項目を、以下に挙げておく。

《必ず聞いておくこと》

趣味、特技、好きな音楽、好きな食べ物、好きな芸能人など。

《できれば聞いておきたいこと》

年齢、職業、学校、仕事など。

【情報収集トーク例】

♪「初めまして、〇〇(掲示板やアプリ名)からメールしました！良かったらお返事頂ければ嬉し

いです！」

♀「よろしくー」

♂「早さんはおいくつなんですか？」

♀「〇歳だよー」

♂「おお、じゃあ結構近いですね！」

♀「そうなんだ、何歳？」

♂「〇歳です！最近のマイブームとかありますか？」

♀「最近ディズニー行ってるー」

♂「ディズニー楽しいですよ！どのアトラクションが好きですか？」

※自分のことではなく、女の子への質問を中心としたトークを展開していく。

最初の段階では、住んでいる地域や場所、スタイルや彼氏の有無など、踏み込んだ質問は絶対にするべきではない。

あくまでも情報収集をしつつ、女の子を楽しませるためのトークをしていこう。

あなたが初日にすべきことは「自分の話し」ではなく、「女の子に話させる」ことだ。

3. 『相槌＋質問』の合わせ技で攻めろ

初日は女の子の情報を少しでも多く引き出し、食いつきの良い話題を模索する必要がある。

だからこそ、「女の子の話を聞く」という徹底したスタイルを貫こう。

そのために効果的なテクニックとして『相槌』がある。

「へえ～！」「そうなんだ！」「知らなかった！」

相手に対して「興味を持って話を聞いています！」というアピールをすることによって、女の子に気持ちよく話させてあげるワケだ。

とはいえ、このテクニックは多くの恋愛本を読んでいる男性なら、「耳にタコ」ならぬ「目にタコ」と言うほど聞いたことがあるはず。笑

しかし、相槌をした後の会話までは触れられていないことが多い。

初日は、「相槌と共に質問する」トークを中心に攻めていこう。

【トーク例】

♂「早ちゃんは休みの日何してるの？」

♀「別にー、家にいてPCしてるよ」

♂「そうなんだ(相槌)。PCで何を見てるの?(質問)」

♀「好きなバンドの動画とかかな」

♂「好きな動画かー(相槌)。どのバンドが好きなの?(質問)」

♀「〇〇っていうバンド！めっちゃ好きなんよ」

♂「あー、〇〇カッコいいよね(相槌)。どの人が好き?(質問)」

※相槌と質問を組み合わせることによって、女の子に「話させる」ことができる。

リズムを持ったトークになりやすく、食いつきのいい話題を発見したら、それを掘り下げていくこともできる

このように、相槌に質問(話題)を加えることによって、テンポの良いトークにすることができる。

女の子がそれほど話題を振ってこなかったり、積極的に話をしてこない場合にも使える会話術だ。

あなたが会話の流れを作ってあげることにより、女の子が話しやすい雰囲気を作っていこう。

4. 『YES・NO メール』は避ける

女の子からの返信で「はい」「いいえ」の二択が多い場合、それはメッセージの文章に問題がある。

もしそうだとすれば、起死回生できるかどうかは微妙なところ。

そうならないためにも、「YES・NO」で答えられるメッセージは送らないようにしよう。

とくに初日のやり取りでは、絶対に避けたいことでもある。

以下に具体的な例を挙げる。

①一問一答できる質問を繰り返さない

例:「今忙しい?」「仕事は何してるの?」「芸能人は誰が好き?」など。

②「はい・いいえ」で答えられる質問をしない

例:「いいかな?」「ダメかな?」「嫌だったかな?」など。

とは言え、親しくないうちは一問一答になりがちだ。

最初の段階では、軽いメッセージラリーから共通の話題を探していこう。

女の子から質問されたら、それに対しての感想や体験を書き、あなたからも新たな質問をしていく。

たとえば、相手が読書好きな女の子で、おススメの本を教えてもらうとする。

あなたが読んだことのある本なら、良い点と悪い点を書いた上で「どう思う?」「どう感じた?」と質問していこう。

読んだことがないのなら、「こんな本かな?」という予想を書いた上で、どんな内容なのかを聞いてみよう。

ここでのポイントは、対象の良い点と悪い点を具体的に書くことだ。

人間は誰しも、好きな話題ではテンションが上がり、饒舌になるもの。

さらにその後のメールでは、「そういうジャンルが好きならこの本はどう?」と逆におススメすることができるし、「これはこんな内容の本だったよ」という話に持っていくこともできる。

「〇〇ちゃんのおススメはある?」と聞いてみるのも良い。

こちらのメッセージは、文章が苦手な女の子を誘導するための雛形にもなる。

あなたの学生時代、「学校の作文が嫌い」「大学のレポートが嫌い」という友人はいなかっただろうか?

そんな人に高度なメッセージを要求するためには、お手本が必要なのだ。

先にお手本を見せることによって、女の子も文章を書きやすくなるというワケである。

さり気なく自分をアピールしつつも、女の子から聞き出したいことを書いたメッセージを送ろう。

話題をスムーズに運ぶことができれば、LINEでのトークは途切れにくくなる。

5. 「トークスパイラル」に突入しろ

初日を乗り越えるためには、女の子に「楽しい」「話したい」と思わせる必要がある。

2～4を意識してトークしていると、会話に一定のリズムが生まれて途切れにくくなる。

トークの過程で女の子が興味を持った話題を探し、さらにそのテーマを掘り下げていく。

そうしているうちにお互いの緊張はほぐれ、会話しやすい雰囲気になっているはずだ。

それが新たな会話を生み出し、LINEでのトークに好循環をもたらす。

この「トークスパイラル(造語)」に突入できれば非常に強い。

女の子と仲良くなろうとする男性の多くは、「会いたい」「エロトークをしたい」という想いが強いために焦りがちだ。

そのため、話して間もないのにも関わらず、自分のことばかりを話したり、女の子に突っ込んだことを聞いてしまう。

そのため、女の子にとってはつまらないトークになり、徐々にフェードアウトされてしまうのだ。

彼らは、自身の欲望が女の子を遠ざけていることに気づいていない。

LINEのやり取りに限らず、ネット上では欲望をセーブすることが目標を達成する一番の近道なのだ。

いずれにしろ、トークスパイラルに突入することができれば、初日以降も日の光が射す。

6. 明日に繋げる確実な方法

最初の会話で女の子を楽しませることができたなら、その後は継続したやり取りを目指していこう。

いくら初日で好印象を与えることができて、その日で終わってしまっても意味がない。

そこで、次の日も自然にトークできるテクニックを伝授しよう。

それは、「夜にメッセージを返さずにトークを終える」ことである。

たとえば、以下の会話があったとしよう。

♂「それでさ〜、今見てる番組がめっちゃ面白くて」

♀「そうなんだ、何の番組見てるの？」

♂「〇〇って番組、知ってる？」

♀「知ってるー、あれ面白いよね」

このような会話の途中で、メッセージの返信をやめてしまうのだ。

そうしておいて、次の日に「ゴメン、昨日寝ちゃった！」のようにメッセージを送る。

ここでは、「寝たことにする」というのがポイント。

学校や仕事も理由になりそうだが、「学校でも返せるじゃん」「仕事のほうが大事なんだ」と思われてしまう可能性もある。

さすがにこれは極端な例だが、初日である以上は少しでも悪印象を避けるべき。

「睡眠」であれば、寝ている間に返信できるはずもなく、理由としても十分に納得できる。

あなたがメッセージを送る理由にもなるし、嫌らしさも感じさせない。

嘘でもいいので、「先に寝た」ということにしてしまい、自然に翌日のトークへ繋げよう。

もちろん、それまでの会話で女の子を楽しませていれば、より一層明日は揺るぐことがない。

◆第5章◆ 初日以降のトーク

こちらでは、初日以降に仲良くなるための会話術について解説していく。

1. 情報の優先順位を知れ

物事には順番というものがある。

代表的な例に、「あいうえお」から始まる『50音順』という仮名文字の規則がある。

この中の数個の順番が変わっていたら、違和感を覚えるだろう。

もしバラバラになってしまったら、ワケがわからなくなってしまう。

これはLINEに限らず、女の子との会話すべてに当てはまることだ。

つまり、優先順位を間違えなければ、すんなりと聞き出すことができるのだ。

以下では、聞き出す情報をランク別に分けて解説している。

【情報別ランク表】

Dランク	年齢、職業、性格、血液型、趣味や嗜好、休日の過ごし方。
Cランク	誕生日、好きなタイプ、嫌いなタイプ。
Bランク	本名、地域、身長、電話番号、彼氏の有無、過去の恋愛遍歴。
Aランク	体系(スリムやぽっちゃりなど)、スタイル(スリーサイズや体の特徴など)。
Sランク	エロトーク、家庭環境。

基本的には上記の表に従って、D～Sランクの順に聞き出すのが望ましい。

イメージとしては、「Dランクを全て聞けたらCランク」という感覚だ。

これらの項目は、実際に多くの女の子に協力してもらって分類したものだ。

そのため精度が高く、体系化されているぶん理解しやすい。

この表は後々にも非常に重要になるので、よく頭に入れておいてほしい。

2. 「会話のスイッチ」を切り替えろ

女の子との会話では、できる限り男性が主導権を握っていきたい。

たとえば、テレビ番組の司会者は、自身が番組を進行する中心でありながらも、ゲストに話を

振ってトークを盛り上げる。

つまり、彼らは「会話のスイッチ」を上手く切り替えているのだ。

トークの主導権を握ることができれば、話題に変化を持たせつつ、自然な流れで会話を行うことができる。

慣れていけば、こちらの目的の話題へと導くこともできる。

【会話例】

♂「〇〇ちゃんは最近ハマってることある？」

♀「服を集めることかなー」

♂「そうなんだ！買い物はよく行くの？」(ショッピングの話に切り替え)

♀「結構行くよ！週に2回は行ってるかな」

♂「へー、俺はコンビニくらいしか出ないけど(笑)休みの日に買い物に行くの？」(休日の話に切り替え)

♀「それじゃあ引きこもりじゃん(笑)休みの日にも行くし、平日にも行くかなー」

♂「だって買い物しないし(笑)平日は学校帰りとかに行くの？」(学校の話に切り替え)

♀「学校帰りには行かないけど、終わったら暇だからさー」

※あなたが話を切り替えることによって、会話の主導権を握ることができる。
実際には、話題の節目である程度のトークを挟んでいく。

このように、関連したキーワードを繋げることができれば、スムーズに話を切り替えることができる。

「会話のスイッチ」を切り替えつつ、女の子を飽きさせないトークを繰り広げていこう。

3. 彼氏のウマイ聞きだし方

「女の子と仲良くなりたい」

そう考えている男性の多くは、同時に「彼女にしたい」「●●したい」とも考えているはずだ。

だからこそ、最初に彼氏の存在を確認しようとする。

それも当然のこと、既に恋人のいる女の子では、関係が発展する可能性はとても低くなってしま
うからだ。

「そう言えば、〇〇ちゃんは彼氏いるの？」

ほとんどの男性は焦りを抑えきれず、彼氏がいるかどうかをストレートに聞いてしまう。

1のランク表に当てはめると、「彼氏の有無」はBランクに該当する。

本来であれば、ある程度仲良くなってからでなければ聞けない情報というワケだ。

しかし、恋人の有無を最初の段階で聞き出す方法がある。

それは、「彼氏がいる」ことを前提にしてさりげなく質問することだ。

【会話例①】

♀「うち映画見るのが好きなんだー。特に俳優の〇〇が好き♪」

♂「あー、〇〇さんカッコいいよね！映画は彼氏と見に行くの？」

【会話例②】

♀「私マッサージが得意なんですよ♪よく友達にうまいって言われるんです」

♂「へー凄いですね！それは彼氏さんが羨ましいですよ」

このように、「恋人がいる」という設定で質問すれば、聞き方として嫌らしくなく、下心も感じさせ
ない。

このテクニックを上手く使って、序盤に彼氏の情報をゲットしてしまおう。

4. 情報ランクでわかる女の子の好感度

ここでは、1のランク表が大活躍する。

【情報別ランク表】を少し改良すると、こうなる。

【好感度表】

初対面	年齢、職業、性格、血液型、趣味や嗜好、休日の過ごし方。
知人	誕生日、好きなタイプ、嫌いなタイプ。
友達	本名、地域、身長、電話番号、彼氏の有無、過去の恋愛遍歴。
友達以上恋人未満	体系(スリムやぽっちゃりなど)、スタイル(具体的な体のパーツ)
恋人	エロトーク、家庭環境。

たとえば、地域や本名を聞くことができたなら、女の子からは「友達」と思われている可能性が高い。

逆に言えば、好きなタイプや誕生日を聞けなければ、「知人未満」ということになる。

この【好感度表】を上手く活用し、あなたに対する女の子の位置付けを把握しておこう。

5. やり取りを「当たり前」に

初日のデッドラインを超え、それ以降も会話することができるのなら、ひとまず安心していい。

だがそれに甘えることなく、友達のように何でも話せる関係を目指していこう。

最終目的が「会うこと」であればなおさらだ。

そのためにも、「おはよう！ 今日1日頑張ろう！」「こんばんは。今日もお仕事お疲れ様です」などの挨拶メッセージも定期的に送っていこう。

あなたに対してのメッセージが、「質問」で返ってくるようになれば文句なし。

なぜなら、女の子があなたに「興味を持っている」ということに他ならないからだ。

好意を汲み取ることができれば、積極的にメッセージを送っていけるし、相手との会話に消極的になることもない。

いずれにしろ、より深い関係になるためには、女の子の心を掴まなければならない。

次章では、そのためのトークテクニックについて解説していく。

◆第6章◆ 女の子の心を掴むトーク術

こちらでは、女の子とさらに仲良くなるためのテクニックを解説していく。

1. 褒める技術を身に付けろ

女の子と仲良くなるためには、褒めることが一番の近道である。

誰も褒められると嬉しいものだし、褒めてくれた相手に対して好意を持つからだ。

ここで褒める技術を身に付け、女の子の心をギュッと掴んでしまおう。

以下では、女の子を2タイプに分けて褒め方を解説していく。

①ルックスの良い女の子

このタイプの女の子に対しては、「可愛いね」「美人だね」と褒める男性が圧倒的に多い。

しかし、外見を褒めてもそれほど心には響かないのだ。

なぜなら、彼女たちは「褒められ慣れている」からである。

あなたがイケメンの場合、「カッコイイ」と言われてどう思うだろうか？

嬉しいことは間違いないだろうが、「よく言われる」というのが本音ではないだろうか。

それは女の子も同じ、ルックスの良い娘に対しては外面を褒めるのではなく、内面を褒めたほうが効果的だ。

トークをしている過程で、女の子の性格の良い点、結果(勉強・仕事の成果)などを具体的に褒めてあげよう。

外見を褒められるよりも、そのほうが強く心に響くのだ。

②ルックスの悪い女の子

誰にでも、ネガティブな発言は付いて回る。

特に落ち込んでいるときには、どうしてもそのような思考になりがちだ。

特にルックスの悪い女の子に対しては、かなり褒めづらくなってしまふ。

そこで提唱するのが、「ポジティブに変換して褒める」という『ポジティブ変換法(造語)』だ。

これを上手く使えば、ネガティブな発言を褒める要素に変えることができる。

たとえば、「無口」は『寡黙で秘密を守りそう』とポジティブに変換できる。

「うるさい」は『話題が豊富で、一緒にいて飽きなそう』となる。

「引きこもり」は少々難しいが、『ゲームやパソコンに詳しそう』となる。

このように、女の子のネガティブ発言をポジティブに変換し、褒める対象に変えてしまおう。

あなたの想像力と発想力しだいでは、どんな要素も褒める材料にすることができるのだ。

2. 効果的な女の子の励まし方

「学校で友達ができない…」「仕事の間人間関係が上手くいかない…」

女の子の中には、このような悩みを抱えている娘も多い。

彼女たちに対しては、「大丈夫だよ」「そのうち上手くいくよ」という安易な言葉は絶対にNG。

口先だけの励ましでは女の子は癒されないし、心が動くこともない。

悩みを抱えている女の子に対しては、“同じ視点”から励ますことが大切だ。

たとえば、相手の女の子が「彼氏にフラれた…」と落ち込んでいるとしよう。

そんなとき、励ますための常套句には「他にもっと良い人がいるよ！」「〇〇ちゃんだったら、すぐに新しい彼氏ができるよ！」などがある。

しかし、『恋人がいない人 > 恋人がいる人 > フット彼氏』のように、あなたの状況によって励ましの効果は大きく変わってくる。

つまり、似たような状況の人ほど励ましの効果は高くなるのだ。

もちろん先ほどのセリフは、フット彼氏が1番言ってはいけないセリフである。笑

女の子を励ましつつ好意を抱かせるためには、「その娘と同じ状況であることを伝え、同じような体験談を交えて励ます」ことに尽きる。

その体験談は真実である必要はなく、作り出した嘘の話でもいい。

女の子の悩みよりも重い話のほうが、より強く共感を誘うことができる。

冒頭の前者であれば、「俺は学校で友達ができなくて引きこもりになったよ。〇〇ちゃんは学校に行ってるから凄いよ！」

後者であれば、「僕は人間関係が嫌で会社を辞めちゃいました。〇〇さんは続けているから尊敬します！」

かなり極端な例だが、悩みを抱えている女の子に対しては、体験談を交えて励ますことが効果的なのだ。

3. メッセージを返すベストタイミング

まず、メッセージには2種類ある。

♀「今何してる？」

♂「本読んでたよ！」

♀「へー、何読んでるの？」

♂「〇〇、そっちは何してた？」

上記のような、短文メッセージの応酬がショート型。

この場合は、基本的に早く返信したほうがいい。

あまりにも早く返すのもアレだが、30分以上放置すると、女の子は送ったメールのことはどうでもよくなる。

その一方、

♀「こんばんは♪今日は1日〇〇でした！××さんは何してましたか？私はこれからお風呂に入ってご飯作ります！」

上記のような長文メッセージがロング型。

この場合は、女の子はすぐに返信を求めているし、こちらとしてもメッセージを返す余裕がある。

そのため、相手が少しくつろいでいる時間帯に、返信をするくらいでちょうどいい。

すぐに返ってくるようなら、ショート型に移行してトークを続けられればいい。

文章が短いほど早く返し、長いほど時間をおいて遅く返すのが基本。

あとは、相手の女の子のメッセージ内容に合わせて対応すればいい。

4. 「LINE 記念日」を覚えろ

基本的に女の子は、細かいことを覚えている男性に好意を持ちやすい。

たとえば、プロフィールの「ひとこと」や、以前のトークで話した内容を話題に挙げるのもポイント。

「私の誕生日ちゃんと覚えてる？」「私たちが初めて会った日覚えてる？」

あなたは、女の子のこんな言葉を聞いたこともあるだろう。

このように、女の子は男性以上に「記念日」のことを覚えている。

相手に「今日は何の日？」と突然聞かれたときに、すぐに答えられないようでは、女の子の機嫌を損ねてしまうというワケだ。

とは言え、ある程度関係が深くなっていなければ、この質問をされることもない。

LINEでのやり取りにおける「記念日」とは、『初めてトークした日・初めて通話した日・誕生日』の3つである。

これらは、LINEのトーク履歴を見れば、すぐにわかることばかりだ。

だが空で言えるようになれば、女の子の好感度はグーンと上がる。

最初の話話が不足しがちな、通話のネタにもすることができる。

これらの「LINE記念日」を頭の中に叩き込んでおき、すぐに答えられるようにしておこう。

5. トーク履歴の分析

継続的なやり取りができていいるなら、さらに女の子の心を掴むための努力をしていきたい。

具体的には、半月に1度はトーク履歴をチェックするべきだ。

とは言え、長い間やり取りしているのであれば、メッセージの量がとんでもないことになっていく。

これでは、スクロールして眺めるだけでも大変である。

実はLINEには、「トーク履歴を送信する」という機能がある。

トークルームに入り、『スマホのメニューボタンを押す ⇒ 「トーク設定」をタップ ⇒ 「トーク履歴をメール送信」をタップ』でテキストファイルが作成され、メーラーが立ち上がる。

件名にPCのメールアドレスを入力して、ファイルを送信しよう。

これで、PCの大画面で快適に履歴を見ることができる。

トーク履歴で分析したいことは以下である。

【重要事項の確認】

初めてトークした日、初めて通話した日、女の子の誕生日など。

【話題のランク分け】

第3章のランク表と似ているが、少々違う。

これはあくまでも、女の子に対しての効果的な話題を探るものである。

以下のように、特定の話題に対する反応を見ながら、ランク分けして記入してみよう。

Aランク:効果はバツグンだ！

Bランク:効果は今一つ

Cランク:効果がない

上記のフレーズは、どこかで聞いたことがあるかもしれない。笑

当然、Aランクの話題を深く掘り下げていくことになる。

【今後のトークの方向性】

現在までのトーク履歴から、「どのような話なら食いつきやすいか？」「どのような話題がベストか？」などを分析する。

その上で、今後の女の子とのやり取りの作戦を練ろう。

LINEに限った話ではなく、目的のためには「準備不足」ということはあっても「準備過多」ということはない。

使える情報があるのならそれを利用し、女の子とのトークに役立てていこう。

◆第7章◆ 世代別トークテクニック

こちらでは、世代別に効果的なトーク術を解説していく。

女の子の年代ごとの特徴を知ることができれば、好印象を与えるトークを繰り広げることができる。

1. 10代の女の子

このタイプの女の子は社会経験が圧倒的に少なく、浅い会話をしてくることが非常に多い。

「熱しやすく冷めやすい」というのも彼女たちの特徴だ。

彼女たちと仲良くなるためには、相手の視点と思考を「読む」ことである。

あなたが『中学生・高校生・大学生』だったころを思い出してみればわかりやすい。

つまり、「相手の精神年齢に合わせる」という柔軟さが求められてくるのだ。

①とにかくノリが大事！

子供のころには何でもやってしまうが、大人になるにつれて自重してしまうというアレ。

いくらあなたが立派な男性であるとはいえ、10代の女の子と仲良くなりたいのなら、「常識人」だということは忘れてしまったほうがいい。

とにかく彼女たちの話にノって、無茶なことでも肯定できるくらいの勢いが欲しい。

浅い知識でもかまわないので、相手が興味を持った話題をドンドン掘り下げていこう。

②オラオラキャラでいけ！

10代の女の子に対しては、真面目なキャラよりも、ある程度「オラオラ」でいったほうがいい。

彼女たち特有の、「ワルのほうがカッコ良く見える」というアレだね。

そのため、深刻な悩みや相談事は除いて、基本的に細かい気遣いは無用だ。

かなりガツガツといったほうが、お互いに仲良くなりやすい。

③「失敗」を優しさで癒せ！

たとえば、10代の女の子が彼氏と別れたとしよう。

そのような「失敗」は、彼女たちに大きな心のスキマを作らせる。

そういうときは、ここぞとばかりに愚痴や悩みを聞いてやり、相談にも乗ってあげよう。

すると、こちらが何もアクションを起こさずとも、向こうから勝手に擦り寄ってくるようになる。

しかし、常に優しくしているようではダメ。

ときには冷たく突き放し、そこに見え隠れする優しさというのもポイントだ。

ぶっちゃけて言うと、10代の女の子は何考えてるかわからないから、そこは直感で対応している。笑

④正論はタブー！

真面目な相談に乗ってあげるとき、あなたが立派な大人であっても、10代の女の子に対しての倫理的な会話は絶対に避けたい。

たとえば、あなたは少年時代にこう言われたことはなかつただろうか？

「〇〇は絶対にやめなさい」「〇〇は××だからいけません」

このように親御さんに説得されて、あなたは素直に言うことを聞いていただろうか？

おそらく、ほとんどの人が反抗心をムキ出しにしていたことだろう。

10代の女の子も同じ、それがいくら正論であっても、彼女たちにとっては逆効果になってしまうのだ。

「どうしたらいいと思う？」と聞かれたら、「好きにすればいいんじゃない？」のように投げやりなくらいでちょうどいい。

もちろん、それが深刻な悩みであった場合は、さすがに真面目に答える必要はある。

2. 20代前半の女の子

このタイプの女の子はある程度の社会経験があり、浅い話への興味は薄れ、深い話をしたがる傾向がある。

10代の娘に比べて精神的に成長しているものの、まだまだ学生気分が抜け切れていない。

「自分は丁寧な言葉を使っている」と思いがちだが、まともな敬語を使えない娘も多い。

また、社会的なマナーが備わっておらず、社会情勢にもめっぽう疎い。

だが逆に言えば、それらが彼女たちを落とすポイントでもある。

①大人の優しさを見せつけろ

この年代の女の子は自身が未熟であるぶん、大人の男性を好みやすい。

10代の男の子には少し難しいかもしれないが、20代後半～30代前半の男性は「様々な人生体験」「オシャレなデートスポット」などの大人な経験をしている。

それらが、彼女たちの目にはとても眩しく映るのだ。

LINEで言う「大人の優しさ」とは、「女の子への心遣い」「女の子を思いやる気持ち」などである。

「悩み事があったら的確なアドバイスをする」「相談事があったら親身になって聞いてあげる」などの、大人な包容力を見せ付けてあげることだ。

②新たな知識を提供しろ

この年代の女の子は、社会経験が浅いぶん、知識も軽薄であることが多い。

だが10代の女の子と決定的に違う点は、「学ぶ姿勢を持っている」ということだ。

そのため、未完成な知識を補ってくれる男性は好かれやすい。

たとえば、相手が「アクセサリーに興味がある」としよう。

そんなとき、あなたが「品揃えが良くて安い〇〇っていう店を知ってるよ！」と教えてあげるのだ。

そのような、新鮮かつ有益な情報を与えてくれる男性に、20代前半の女の子は弱い。

③行動力を見せつけろ

これはトークには当てはまらないが、行動範囲の広い男性はとても有利だ。

ここで言う「行動力」とは、「車」のことである。

マイカーを所有しているのなら、女の子を迎えに行くこともできるし、遠距離に出かけることもできる。

車を持っている男性は、仲良くなったら是非ドライブに誘ってみよう。

とくに「行き先を告げずに高ランクのデートスポットへ連れて行く」ことはとても効果的。

もちろん、無理やりではなく、女の子との同意の上での話しとなる。笑

3. 20代後半～30代以上の女性

このタイプの女性はかなりの社会経験があり、浅い話を敬遠し、奥深い話をしたがる傾向がある。

身体的にもかなり成熟している時期であり、それに比例して結婚願望も強い。

遠い将来のことを考え始めるようになり、男性のパートナーとしての資質を重視する。

性欲がピークを迎える時期にあるため、下ネタを嫌がらない女性が多いのも高ポイント。

①トークで心地良さを与えろ

この年代の女性が好印象を持ちやすいのは、一緒にいて安心できる男性だ。

とくに30代にもなると、20代の刺激がある恋愛に疲れを感じ、安定を求めるようになる。

それと同時に、「心の癒し」も欲している。

たとえば、相手から悩みや相談事を受けた場合。

聞く姿勢はもちろんのこと、的確なアドバイスに加えて、これからどうすれば良いのかを共に話し合おう。

LINEのトークで心地良さを感じさせることができれば、彼女たちとの距離をグッと縮められる。

②相手の見てほしい部分を褒めろ

この年代の女性は、「女性として見られたい」という願望が強い。

そのため、トークの節々で「女性らしさ」を発見したら、それを具体的に褒めてあげよう。

相手の女性がよく料理をしているのなら、「〇〇がお得意なんですね！家庭的で羨ましい限りです」

仕事を頑張っているのなら、「いつもお仕事お疲れ様です！〇〇さんが頑張っているなら、僕ももっと頑張らなきゃですね」

このように、「女性」として接しつつ、日々のストレスを労うような言葉をかけてあげよう。

③ときにはあなたが相談する

この年代の女性は、年下の男性に対して「頼れるお姉さん」と見てほしい女性もいる。

聞き手に回って話を聞いてあげることはもちろんだが、ある程度仲良くなったなら、ときにはあなたが相談してみよう。

相手の女性は「頼られている」と感じ、真摯なアドバイスをしてくれるはずだ。

そのやり取りが、2人の関係をさらに強固なものにしてくれる。

普段は愚痴を聞くことに徹したいが、ときにはスパイス的な要素も持たせてみよう。

◆第8章◆ LINEトークで注意すべき5つのこと

こちらでは、女の子とのトークで気を付けたいことを解説していく。

1. メッセージの送信確認

LINEでトークをしていると、メッセージの右に「！」マークが表示される事がある。

このマークは、「メッセージを送信できなかった」という意味だ。

俺のスマホはかなり重く、たまにメッセージが送れていない時がある。

これをチェックしていないと、自分で気付かないどころか、『送ったのに返ってこない…』という余計な心配をすることになる。

メッセージを送った際には、きちんと送信できているかどうかを確認しよう。

もしかすると、スマホの動作が重い俺だけかもしれないが、注意しておいて損はない。笑

2. 長すぎる自己紹介

「俺は〇歳で〇〇高校に通ってます！趣味は〇〇で、休みの日はよく〇〇をしてるよー♪あとは…」

「僕は〇歳で仕事は〇〇をしています。休日はよく〇〇に出かけて過ごすことが多いです。〇〇は凄く楽しくて…」

女の子とトークを始めたときに、あまりにも長く自分のことを語る男性は多い。

これは、与えられる情報が少ない「ネットコミュニケーション」では仕方がないこととも言える。

もちろん、「自分のことをよく知ってもらいたい」という気持ちはよくわかる。

だがこれは、女の子との距離を遠ざけてしまうことに繋がる。

なぜなら、「自分のことしか話さない人」という印象を持たれてしまうからだ。

あなたのことを語るのは、ある程度仲良くなってからが望ましい。

とくに、初日の自分語りは絶対にNGと心がけよう。

3. 加工されすぎた写真を使う

LINEのプロフィール画像には、自分の写真を載せている人がとても多い。

様々なネットサービスの普及によって、個人情報の考え方が変化しつつあるからだ。

「自分の顔を出して、女の子に見てもらいたい」という理由から、主に男性が写真を載せることが多い。

だが、少し手を加えた写メならまだしも、あまりにも加工されすぎた写真は悪印象になってしまう。

たとえば、肌を白くし、目を大きく見せる最近のプリクラがそうだ。

それらの機能を使えば、確かに写真うつりを良く見せることができる。

しかし、あまりに白すぎたり、目が大きすぎたりする場合は敬遠されてしまいがち。

そのため、写真を加工するのであれば、不自然にならない程度に抑えるのが吉。

4. 絵文字や顔文字の乱用

20代後半～30代前半の男性に多いが、特定の単語を絵文字で代用する人が多い。

たとえば、『メール ⇒ メール絵文字』『電話 ⇒ 電話絵文字』などが典型的な例。

つまり、言葉を絵文字に置き換えてしまうのである。

これは、「絵文字のほうが楽」「デコレーションしたい」という心理からくるものだろう。

だが女の子からすれば、メッセージが読みづらくて仕方がない。

そのような文章では、内容はもちろんのこと、あなたへの興味も薄れさせてしまう。

あなたがどんなに良いと思っても、女の子が「嫌だ」と感じれば意味がないのだ。

無論、やたらに絵文字や顔文字を使いすぎることも避けたい。

カラフルで賑やかなのは良いが、女の子からすれば「うるさい」という印象しかない。

もちろん、相手が多用するようであればこの限りではない。

5. 同じことを何度も聞く

女の子は男性以上に細かいことを覚えている。

『年齢・地域・職業・趣味』などの基本的な情報は、誰しものが聞くことだろう。

しかし、基本情報であるがゆえに、多くの男性は忘れてしまうことが多い。

「あれ、何歳だったっけ？」「どこに住んでるんだっけ？」「仕事(学校)は何だったっけ？」「何が好きなんだっけ？」

1回だけならまだしも、それが4回以上となると悪印象を与える原因になる。

トークでは絵文字や顔文字、通話では声に出さずとも、心の中では般若の表情になっている。

「仏の顔も三度まで」ならぬ、「女の顔も三度まで」というワケだ。

「話を聞いてない人」というレッテルを貼られてしまったら、汚名返上するのは容易ではない。

そのため、聞き出した情報はメモしておくか、トーク履歴でこまめな確認を心がけよう。

最後に

【出会い系ライターの『LINE 術』】はいかがだったでしょうか？

今やレスポンスの遅いメールはほとんど使われず、LINE を始めとしたスマホアプリでの会話が主流となっている。

だからこそ、トーク力を磨くことによって、女の子の心を高確率で掴むことができる。

「ネットの会話は、リアルの会話に近づきつつある」

現状を見ると、そう言っても何ら違和感はない。

だが、ネットで与えられる情報は少なく、まだまだリアルの会話には及ばないことも事実。

「文字」は1つだけでは何の意味も持たない。

無数の文字を積み重ね、そこに独自の規則性を持たせることによって、女の子が一喜一憂する。

よくよく考えれば、これは不思議なことである。

チャットとは、文字が織り成すコミュニケーション。

だからこそ、LINE のトーク力と同時に、文章力を磨くことも忘れないでほしい。

-著者名-

江川 岳光 (エガワ タケミツ)

-プロフィール-

大学を卒業後、就職をせずに怠惰な日常を過ごしているとき、親友の誘いでライターの道へ。

「役に立つ記事の執筆」がモットーのR-18 案件専門ライター。

女性との出会いに悩める多くの男性のために、有益な出会いノウハウを日々書き続けている。

常にあらゆる出会いの方法を求め続け、「分かりやすく使える」情報を提供することを目的としている。
